

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第7部門第1区分  
【発行日】令和6年5月16日(2024.5.16)

【国際公開番号】WO2023/032991  
【出願番号】特願2023-545608(P2023-545608)  
【国際特許分類】  
H05B 3/00(2006.01)  
【FI】  
H05B 3/00 310E

10

【手続補正書】  
【提出日】令和6年2月19日(2024.2.19)

【手続補正1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

セラミック体と、  
発熱抵抗体と、  
バイメタルスイッチと  
を備え、

前記セラミック体は、第1面および前記第1面の反対に位置する第2面を有しており、  
前記発熱抵抗体は、前記セラミック体の内部に位置し、第1抵抗体および第2抵抗体を  
有しており、

前記バイメタルスイッチは、前記第1抵抗体と前記第2抵抗体との間に位置している  
ヒータ。

【請求項2】

30

前記セラミック体の前記第1面上に位置し、ビアを介して前記第1抵抗体および前記第  
2抵抗体と電氣的に接続される一対のパッドを有し、

前記バイメタルスイッチは、前記一対のパッドのそれぞれに接離可能に位置している  
請求項1に記載のヒータ。

【請求項3】

前記パッドは、前記セラミック体の前記第1面から突出している  
請求項2に記載のヒータ。

【請求項4】

前記パッドは、前記セラミック体の上に位置する第1層と、前記第1層の上に位置し、  
前記第1層よりも硬度が小さい第2層とを有する

40

請求項2に記載のヒータ。

【請求項5】

前記バイメタルスイッチは、前記パッドに向かうように突出する接点部を有し、  
前記パッドは、前記接点部を受ける凹状の受け部を有する  
請求項2に記載のヒータ。

【請求項6】

前記バイメタルスイッチが位置する前記セラミック体の前記第1面とは反対側に位置す  
る前記セラミック体の前記第2面と前記バイメタルスイッチとを挟む挟持部材をさらに備  
える

請求項1に記載のヒータ。

50

## 【請求項 7】

前記挟持部材は、前記セラミック体および前記バイメタルスイッチを収容している請求項 6 に記載のヒータ。

## 【請求項 8】

前記バイメタルスイッチを挟んで前記第 1 面と向かい合う押圧部材をさらに備え、前記押圧部材は、前記バイメタルスイッチに接する第 1 領域と、前記挟持部材に接しており、前記バイメタルスイッチに接していない第 2 領域とを有する請求項 6 に記載のヒータ。

## 【請求項 9】

前記第 1 抵抗体および前記第 2 抵抗体と並ぶように前記セラミック体の内部に位置する測温抵抗体をさらに備える請求項 1 に記載のヒータ。 10

## 【請求項 10】

前記測温抵抗体は、第 1 方向に並ぶ前記第 1 抵抗体および前記第 2 抵抗体の端子間に位置し、前記第 1 方向に交差する第 2 方向に沿って延びるように繰り返し折り曲げられる端子間部を有する請求項 9 に記載のヒータ。

## 【請求項 11】

前記測温抵抗体は、前記端子間部の断面積が、前記端子間部以外の部分の断面積よりも小さい請求項 10 に記載のヒータ。 20

## 【請求項 12】

請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 つに記載のヒータを備えるヘアアイロン。

30

40

50